

令和4年度

境港市男女共同参画に関する市民意識調査

調査結果報告書

概要版

境港市

調査の概要

《調査の目的》

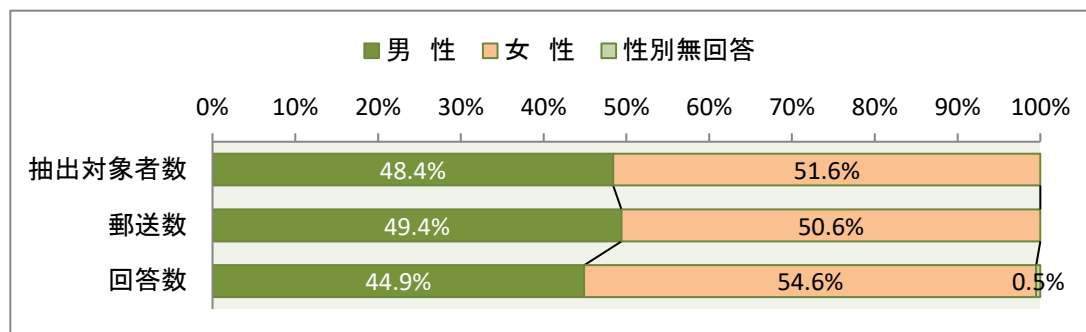
この調査は、境港市男女共同参画推進計画「境港市女(ひと)と男(ひと)とのいきいきプラン」の見直しと今後の施策推進の基礎資料とするため実施した。

《調査の方法》

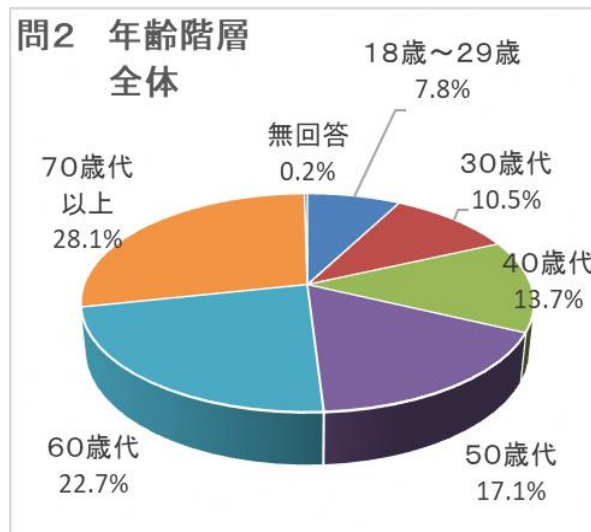
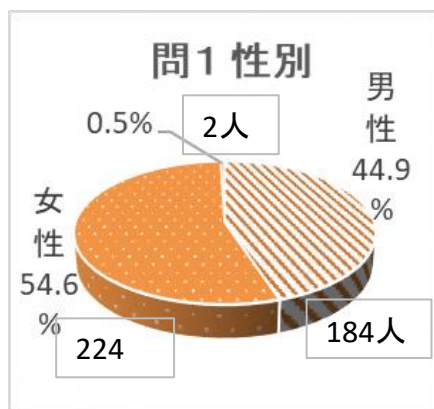
- | | | | |
|--------|------------------|--------|--------|
| ①調査対象… | 市内に在住の満18歳以上の男女 | ②調査地域… | 市内全域 |
| ③調査客体… | 1,000人 | ④調査方法… | 郵送、WEB |
| ⑤調査期間… | 令和4年10月1日～10月31日 | | |

《回答数》

区 分	抽出対象者数		郵送数		回答数				回答率 (郵送で調査した人の 回答率)
	人数	構成比	人数	構成比	回答方法			構成比 (全体)	
					調査 用紙	WEB	計		
男 性	16,016	48.4%	494	49.4%	149	35	184	44.9%	36.4%
女 性	17,100	51.6%	506	50.6%	198	26	224	54.6%	43.9%
性別無回答					2		2	0.5%	
合 計	33,116	100.0%	1,000	100.0%	349	61	410	100.0%	40.4%



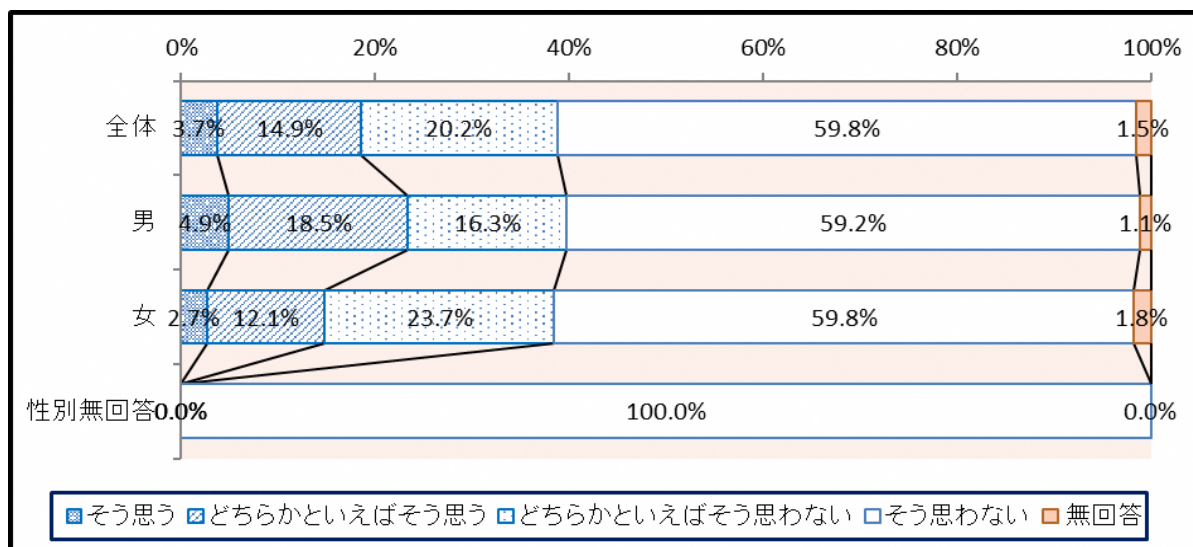
I あなたご自身のことについて



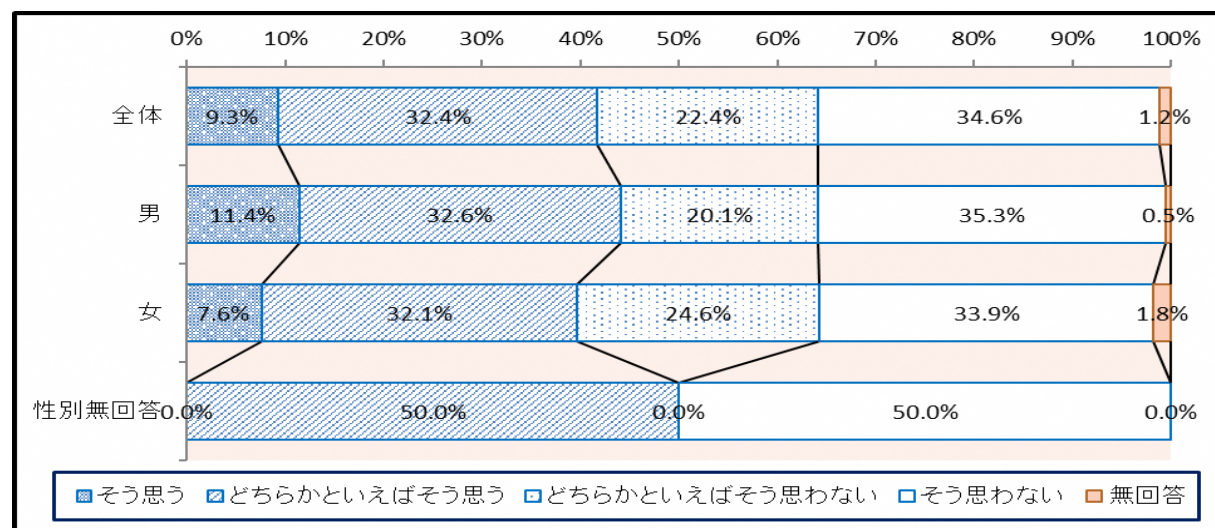
Ⅱ あなた自身の考え方などについて

	項 目	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わない	無回答
ア	「男は仕事、女は家庭」という考えに賛成	3.7%	14.9%	20.2%	59.8%	1.5%
イ	女性は出産や子育てをする必要があるため、男性と雇用などで差がでるのは仕方がない	9.3%	32.4%	22.4%	34.6%	1.2%

ア 「男は仕事、女は家庭」という考えに賛成



イ 女性は出産や子育てをする必要があるため、男性と雇用などで差がでるのは仕方がない。



《分析》

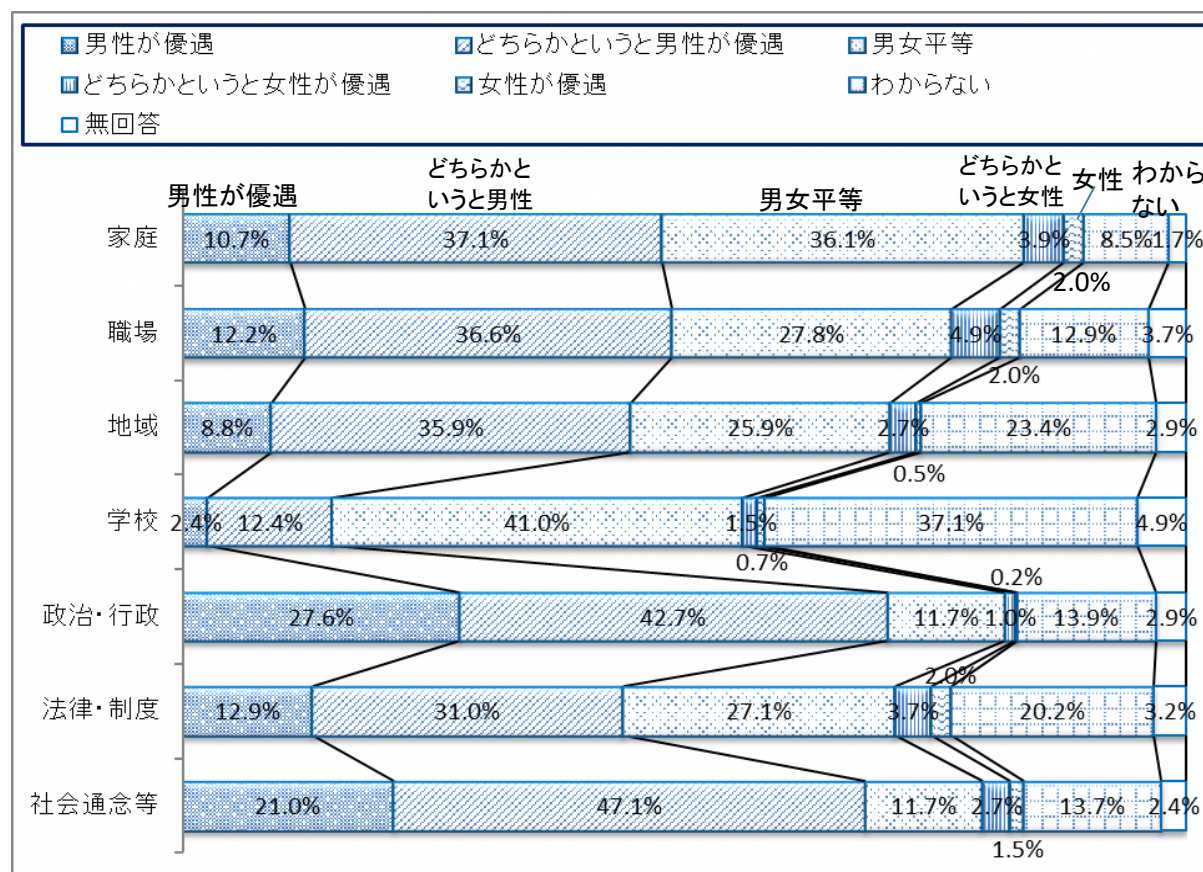
- ◆ ア「男は仕事、女は家庭」という考えに、「そう思わない」と明確に反対している人の割合が、全体で59.8% 男性59.2% 女性59.8%となっており、前回(全体22.3% 男性16.9% 女性26.8%)より2倍以上多くなっている。
- ◆ イ「女性は出産や子育てをする必要があるため、男性と雇用などで差がでるのは仕方がない」は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は、全体で41.7%となっている。

Ⅲ 男女共同参画に関する考えについて

【問】 次の各項目の分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

()内は、前回(5年前)の数字

	項 目	男性が 優遇	どちらか というと 男性が優 遇	男女 平等	どちらか というと 女性が優 遇	女性が 優遇	わから ない	無回答
1	家庭で	10.7% (8.2%)	37.1% (36.6%)	36.1% (32.0%)	3.9% (6.4%)	2.0% (1.5%)	8.5% (11.0%)	1.7% (4.3%)
2	職場で	12.2% (14.3%)	36.6% (31.7%)	27.8% (20.4%)	4.9% (6.7%)	2.0% (0.9%)	12.9% (16.5%)	3.7% (9.5%)
3	地域で	8.8% (8.5%)	35.9% (30.8%)	25.9% (22.9%)	2.7% (1.5%)	0.5% (1.2%)	23.4% (26.5%)	2.9% (8.5%)
4	学校で	2.4% (2.1%)	12.4% (11.9%)	41.0% (36.0%)	1.5% (1.8%)	0.7% (0.9%)	37.1% (37.2%)	4.9% (10.1%)
5	政治や行政の場で	27.6% (25.0%)	42.7% (36.3%)	11.7% (10.7%)	1.0% (2.1%)	0.2% (0.9%)	13.9% (18.0%)	2.9% (7.0%)
6	法律や制度上で	12.9% (14.0%)	31.0% (25.3%)	27.1% (25.9%)	3.7% (4.6%)	2.0% (1.8%)	20.2% (21.7%)	3.2% (6.7%)
7	社会通念・慣習などで	21.0% (23.8%)	47.1% (36.0%)	11.7% (14.0%)	2.7% (3.1%)	1.5% (0.9%)	13.7% (15.9%)	2.4% (6.4%)

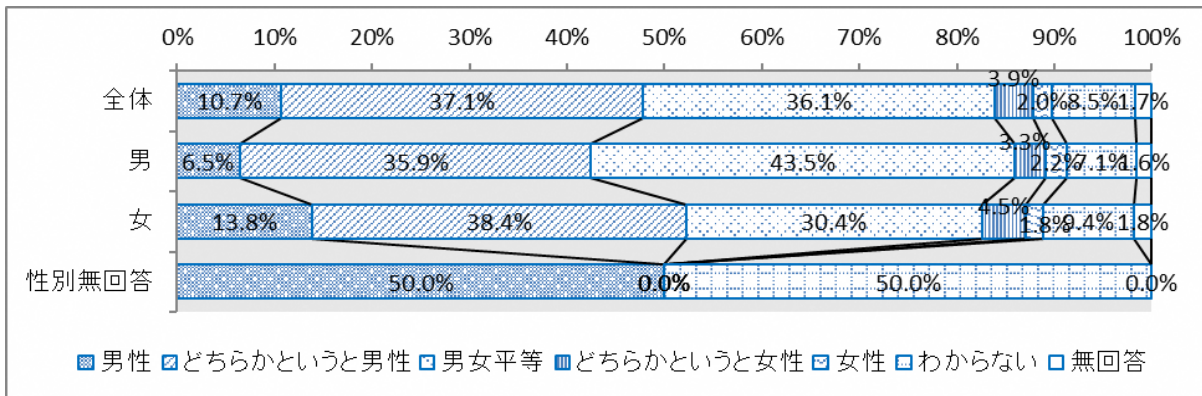


《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというとなりが優遇」を合わせた割合は、『政治・行政』(70.3%) (前回61.3%) と『社会通念・慣習など』(68.1%) (前回 59.8%) が前回調査と同様に多くなっている。
- ◆「男女平等」の割合は、『学校』(41.0%) が最も多く、次いで『家庭』(36.1%) となっている。
- ◆「どちらかというとなりが優遇」「女性が優遇」を合わせた割合は、すべての項目で7%未満となっている。

●「男女平等」に関して、男女で意識に差がある項目

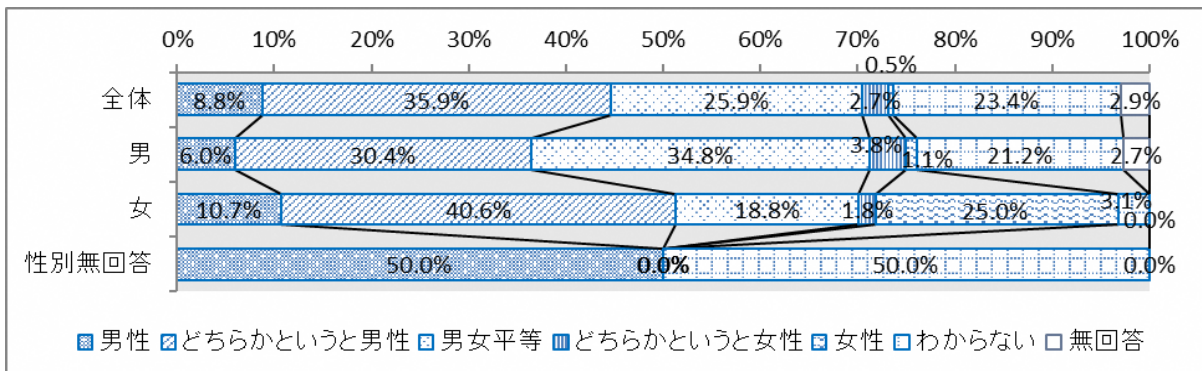
家庭で



《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというとなりが優遇」を合わせた割合は、女性では52.2%、男性では42.4%となっており、男女の意識の差は9.8ポイントある。
- ◆「男女平等」の割合は、女性では30.4%、男性では43.5%となっており、男女の意識の差は13.1ポイントある。

地域で



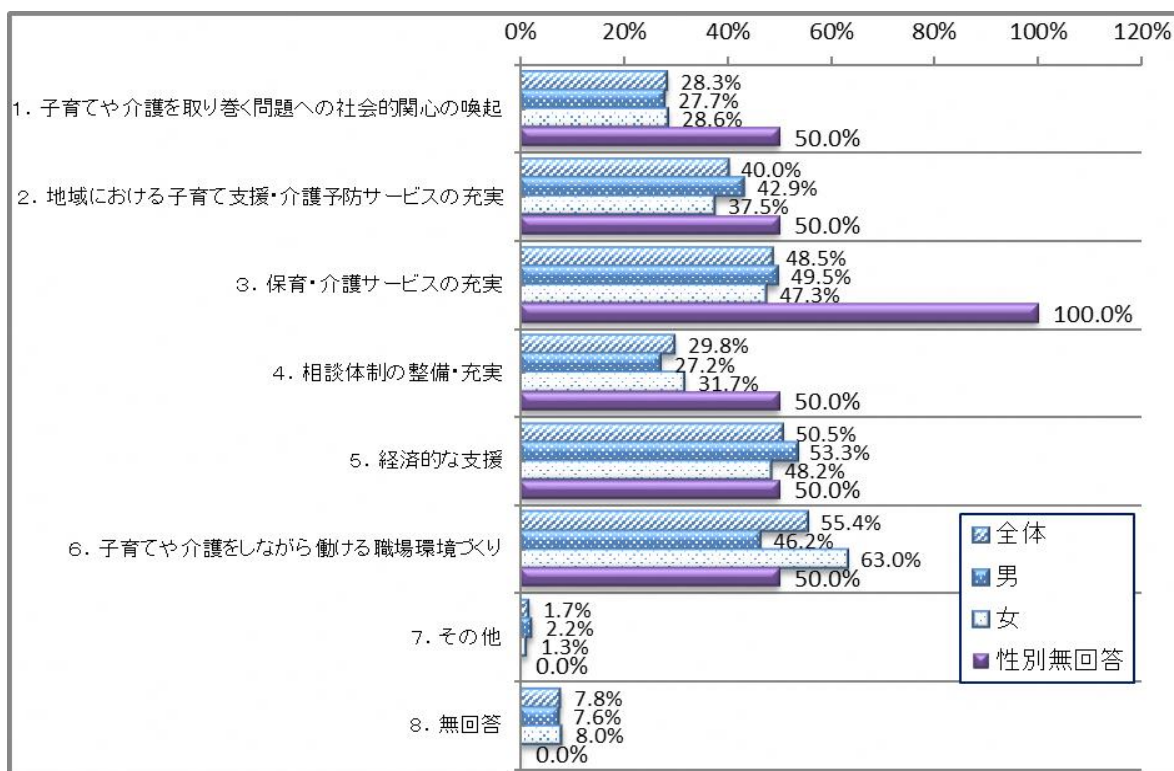
《分析》

- ◆「男性が優遇」「どちらかというとなりが優遇」を合わせた割合は、女性では51.3%、男性では36.4%となっており、男女の意識の差は14.9ポイントある。
- ◆「男女平等」の割合は、女性では18.8%、男性では34.8%となっており、男女の意識の差は16ポイントある。

Ⅳ 仕事と子育て・介護・家庭生活・地域活動の両立について

【問】仕事と子育て・介護・家庭生活を両立するために、
職場や、行政等においてどのような取り組みが進めばいいと思いますか。

	項 目	全体	男	女	性別無回答
1	子育てや介護を取り巻く問題への社会的関心の喚起	28.3%	27.7%	28.6%	50.0%
2	地域における子育て支援・介護予防サービスの充実	40.0%	42.9%	37.5%	50.0%
3	保育・介護サービスの充実	48.5%	49.5%	47.3%	100.0%
4	相談体制の整備・充実	29.8%	27.2%	31.7%	50.0%
5	経済的な支援	50.5%	53.3%	48.2%	50.0%
6	子育てや介護をしながら働ける職場環境づくり	55.4%	46.2%	63.0%	50.0%
7	その他	1.7%	2.2%	1.3%	0.0%
8	無回答	7.8%	7.6%	8.0%	0.0%



＜分析＞

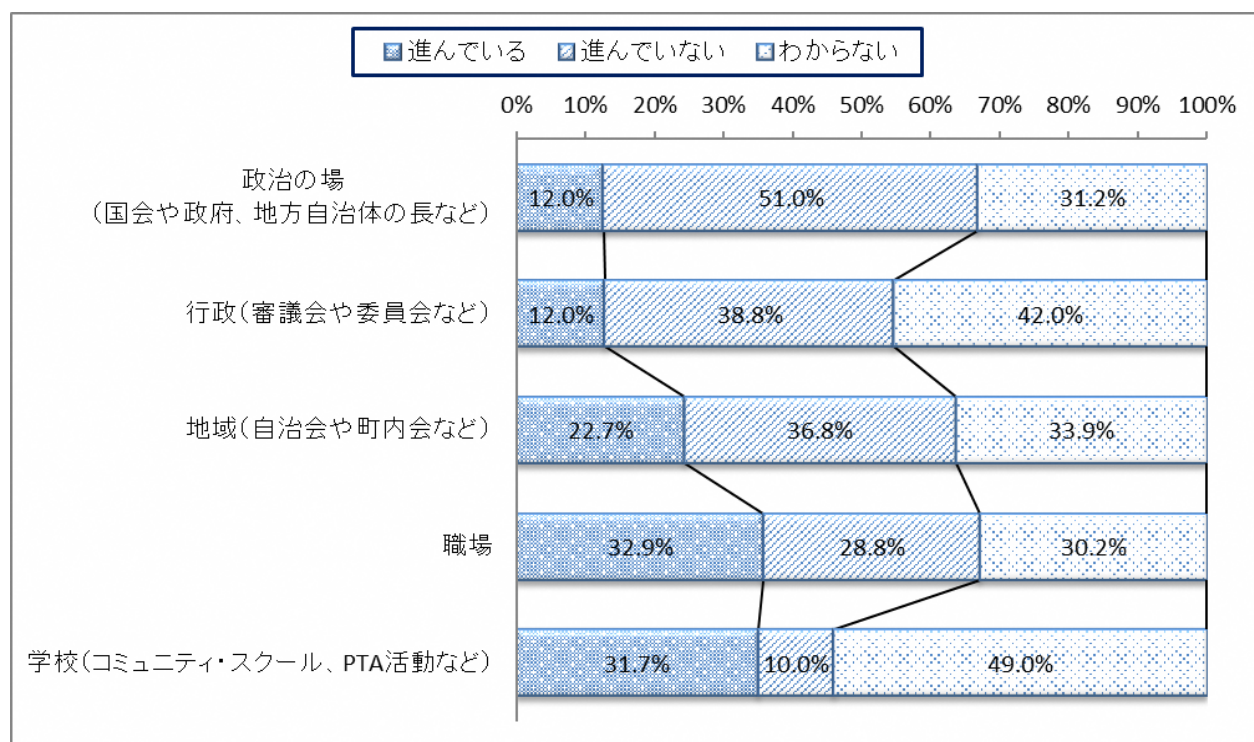
- ◆全体として、「子育てや介護をしながら働ける職場環境づくり」の割合が55.4%と、多くなっている。
- ◆女性では「子育てや介護をしながら働ける職場環境づくり」(63.0%)が、突出して多く、次に「経済的な支援」(48.2%)となっている。
- ◆男性では、「経済的な支援」(53.3%)、「保育・介護サービスの充実」(49.5%)となっている。

V 政策・方針決定の場への参画について

【問】 次の場において、女性の参画が進んでいるかどうかお答えください。
また、「進んでいない」と回答された方は、下記の「主な理由」に番号を記入
してください。(○はそれぞれ1つ、理由もそれぞれ1つ)

※注:「無回答」の方は除いています。

	項 目	進んでいる	進んでいない	わからない
1	政治の場 (国会や政府、地方自治体の長など)	12.0%	51.0%	31.2%
2	行政(審議会や委員会など)	12.0%	38.8%	42.0%
3	地域(自治会や町内会など)	22.7%	36.8%	33.9%
4	職場	32.9%	28.8%	30.2%
5	学校(コミュニティ・スクール、PTA活動など)	31.7%	10.0%	49.0%



《分析》

◆全体として、『進んでいる』の割合は「職場」(32.9%) (前回25.9%) が最も多くなっており、『進んでいない』は「政治の場」(51.0%) (前回33.2%) が最も多くなっている。

●進んでいない理由(一番多い理由)

1. 政治の場	男性優位の慣習的な組織運営	61.4%
2. 行政(審議会等)	男性優位の慣習的な組織運営	44.5%
3. 地域	男性優位の慣習的な組織運営	26.6%
4. 職場	男性優位の慣習的な組織運営	25.6%
5. 学校(PTA活動等)	女性の家事負担が大きい	27.9%

VI 配偶者や恋人等から受ける、暴力等について

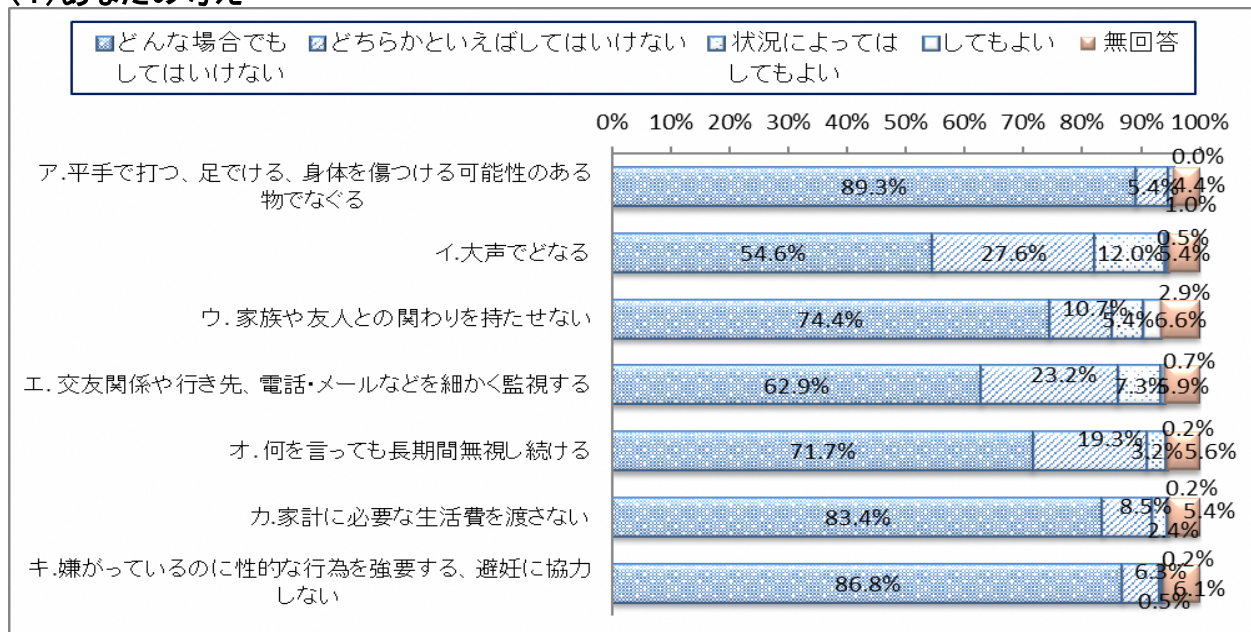
【問】配偶者、パートナー、交際相手から、次の行為をあなたが受けることについて伺います。

(1)あなたの考えに近いものはどれですか。

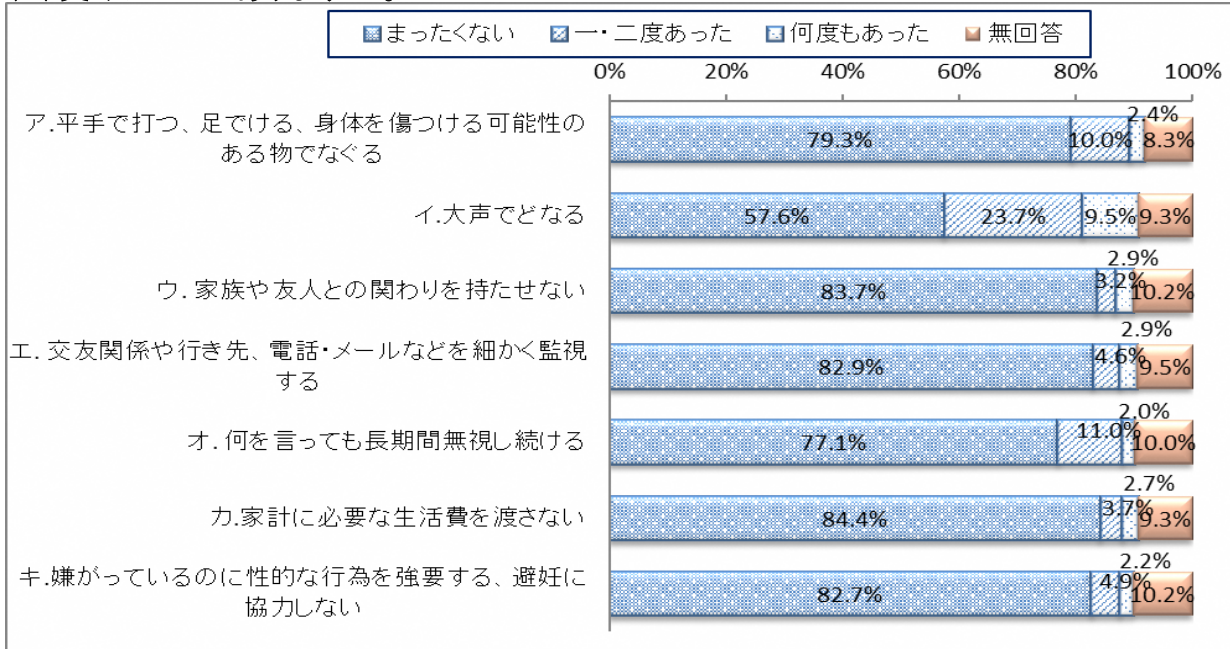
(2)配偶者やパートナー、交際相手から受けたことがありますか。

		(1)あなたの考え					(2)受けたことがありますか。			
	項 目	しど てん は い 場 合 な い も	しど て ち は い か い け な い え ば	し 状 況 に よ っ て は	し も よ い	無 回 答	ま っ た く な い	一 ・ 二 度 あ っ た	何 度 も あ っ た	無 回 答
ア	平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のある物でなぐる	89.3%	5.4%	1.0%	0.0%	4.4%	79.3%	10.0%	2.4%	8.3%
イ	大声でどなる	54.6%	27.6%	12.0%	0.5%	5.4%	57.6%	23.7%	9.5%	9.3%
ウ	家族や友人との関わりを持たせない	74.4%	10.7%	5.4%	2.9%	6.6%	83.7%	3.2%	2.9%	10.2%
エ	交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	62.9%	23.2%	7.3%	0.7%	5.9%	82.9%	4.6%	2.9%	9.5%
オ	何を言っても長期間無視し続ける	71.7%	19.3%	3.2%	0.2%	5.6%	77.1%	11.0%	2.0%	10.0%
カ	家計に必要な生活費を渡さない	83.4%	8.5%	2.4%	0.2%	5.4%	84.4%	3.7%	2.7%	9.3%
キ	嫌がっているのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない	86.8%	6.3%	0.5%	0.2%	6.1%	82.7%	4.9%	2.2%	10.2%

(1)あなたの考え



(2) 受けたことがありますか。



《分析》

(1) あなたの考え

- ◆全体として、『してもよい』と『状況によってはしてもよい』を合わせた割合が「大声でどなる」(12.5%)が最も割合が多くなっており、次に「家族や友人との関わりを持たせない」(8.3%)が多くなっている。
- ◆女性では、『してもよい』と『状況によってはしてもよい』を合わせた割合が「交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する」(9.8%)が最も割合が多くなっており、次に「家族や友人との関わりを持たせない」(7.2%)が多くなっている。
- ◆男性では、『してもよい』と『状況によってはしてもよい』を合わせた割合が「大声でどなる」(20.1%)が最も割合が多くなっており、次に「家族や友人との関わりを持たせない」(9.8%)が多くなっている。

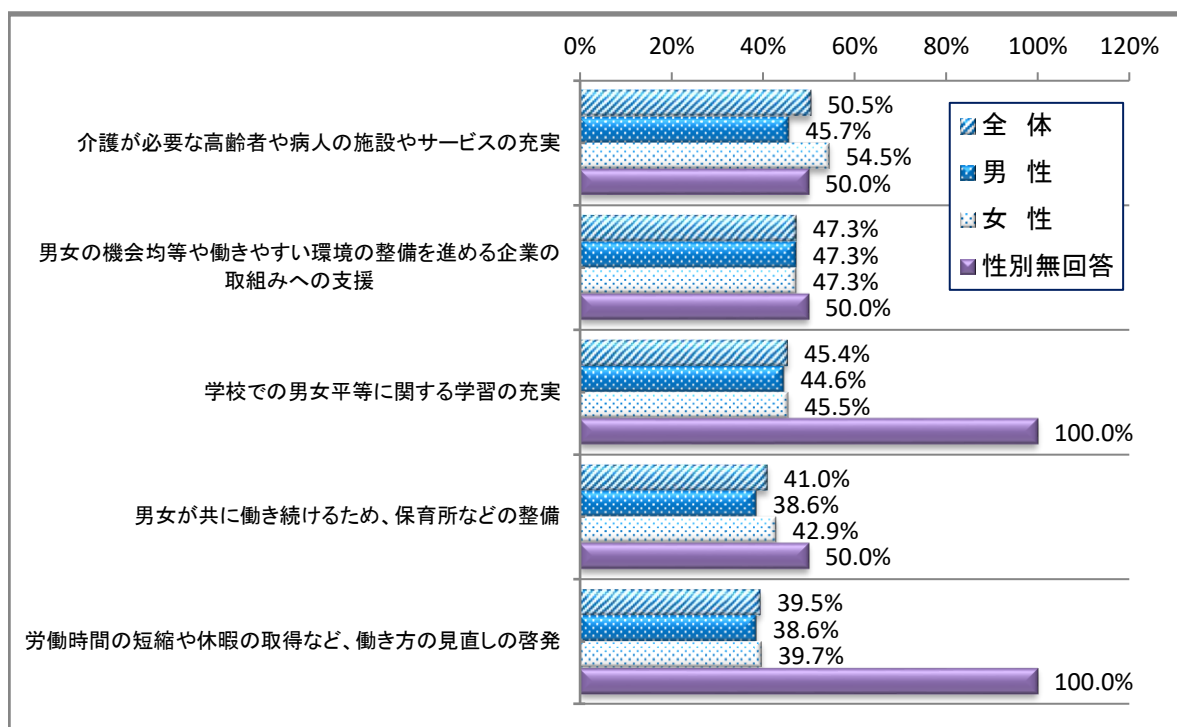
(2) 受けたことがありますか

- ◆全体として、『何度もあった』は、「大声でどなる」(9.5%)が最も多くなっており、『一・二度あった』も「大声でどなる」(23.7%)が多くなっている。
- ◆女性では、『何度もあった』は、「大声でどなる」(9.8%)が最も多くなっており、『一・二度あった』も「大声でどなる」(22.8%)が最も多く、次に「平手で打つ、足でける、身体を傷つける可能性のある物でなぐる」(11.6%)が多くなっている。
- ◆男性では、『何度もあった』は、「大声でどなる」(9.2%)が最も多くなっており、『一・二度あった』も「大声でどなる」(25.0%)が最も多く、次に「何を言っても長期間無視し続ける」(12.5%)が多くなっている。

Ⅶ 今後の取り組みについて

【問】 男女共同参画社会を実現するために、境港市はどのようなことに取り組んでいけばよいと思いますか。(多い順に5項目)

項 目	全 体	男 性	女 性	性別無回答
介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスの充実	50.5%	45.7%	54.5%	50.0%
男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組みへの支援	47.3%	47.3%	47.3%	50.0%
学校での男女平等に関する学習の充実	45.4%	44.6%	45.5%	100.0%
男女が共に働き続けるため、保育所などの整備	41.0%	38.6%	42.9%	50.0%
労働時間の短縮や休暇の取得など、働き方の見直しの啓発	39.5%	38.6%	39.7%	100.0%



《分析》

- ◆全体として『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスの充実』(50.5%) (前回 50.9%) の割合が前回同様に最も多くなっている。
- ◆女性では『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスの充実』(54.5%)、『男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組みへの支援』(47.3%) の順で割合が多くなっている。
- ◆男性では、『男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組みへの支援』(47.3%)、『介護が必要な高齢者や病人の施設やサービスの充実』(45.7%) の順で割合が多くなっている。